

広報

ただみ

8

2010 月号

No. 483

平成22年8月10日



今月の表紙

黒谷川に子どもたちの楽しそうな笑い声が響いた。毎年行われる朝日小学校の「川遊び教室」。今年は7月16日に、待ちに待った1年生から6年生の児童が、一斉に川へと走り込んだ。石を積んだり、寝そべったり、みんな夢中で遊んでいた。

中朝日地区・福島県経営体育成

基盤整備事業... 2~3

R289 (いわき市~新潟市)フルコース踏破 4~5

平成22年度福島県消防操法南会津地方大会 他 6~8

栄養士さんからの健康メモ 9

町の話 10~11

生産性の向上と 担い手の育成を支援

中朝日地区・福島県経営体育成 基盤整備事業(面的集積型)

町では農業の発展と食料の安定供給を目的に、「福島県経営体育成基盤整備事業(面的集積型)」を行い、中朝日(上福井・黒谷)地区の圃場を整備します。併せて、規模拡大を目指す農家に農地の集積を図り、担い手の育成や支援を推進していきます。

本事業は、「担い手の育成」と「農地の集積」を目的に圃場を整備しますので、整備後の対象地区の農業経営を、どのようなスタイルにし持続的に営農するかが重要になります。

面工事や換地などのハード事業は平成22年度から27年度まで行い、その後もソフト事業として「経営体の育成」や「経営体への農地集積」を進めていき、対象地区の安定的な農業経営が確立される目標の時期を平成31年度と定めています。

平成31年度までの間には、「福島県経営体育成促進事業(面的集積型)」を継続的に行い、地域の営農体制を構築させるため、①指導事業、②調査・調整事業、③高度経営体面的集積促進事業の3事業をセットで行います。各事業の概要は次のとおりです。

① 指導事業

福島県が、只見町に対し、指導助言や啓発普及活動を行います。

② 調査・調整事業

土地利用調整活動として次の事業を行います。

- ▽関係農家の意向調査
- ▽土地利用を図るための調整活動
- ▽農地流動化についての関係機関との調整活動
- ▽農業用機械の利用再編に関する活動
- ▽普及センター等の助言指導を受けて行う営農指導に関する活動
- ▽その他農用地流動化に関する調査・調整活動

③ 高度経営体面的集積促進事業

認定農業者などの担い手(高度経営体)に農地を集積した実績により集積向上率を算出、向上率により、設定された助成割合を圃場整備事業費に乗じて出た「促進費」が福島県から只見町に交付される事業で、向上率アップのための取り組みを行なっていく予定です。

*面的集積とは？

担い手(高度経営体)の「経営等農用地面積」のうち、1ha以上のまとまりをもって団地化されている面積をいいます。

*経営等農用地面積とは？

担い手(高度経営体)が、次の権利関係に基づいて農業経営を行なっている農用地面積のことです。

- ①所有権
- ②使用収益権(農業経営基盤強化法による利用権、農地法による賃借権)
- ③基幹圃場3作業以上受託契約による経営(同一農地での基幹3作業以上受託契約)

本事業を行うことにより、経営規模の拡大を目指す地域の担い手農業経営者に農地が集積され目標に応じた、集約的で合理的な経営計画の実行が可能となります。また、確実に農地の利活用が行われ、遊休農地の解消や水環境の保全にも大きな効果が表れるものと考えます。

事業の円滑な進行に町民皆様のご協力をお願いいたします。

中朝日地区・ 基盤整備事業実施区画図

(網かけ部分が対象農地です。)



全体事業費

中朝日地区の圃場整備事業にかかる工事費の内訳は下表のとおりです。
平成22年度から27年度までのトータルの金額です。

■整備費 4億6800万円

■総面積 32.8ha

工事名	金額 (千円)
整地工	90,435
道路工	62,569
用水路工	65,058
排水路工	89,861
客土工	35,789
測量試験費	62,573
補償費	14,427
換地経費	37,398
工事雑費	9,890
合計	468,000



▲基盤整備事業が実施される上福井地区の現在の農地

只見高校生

R289 (いわき市~新潟市) フルコース踏破



▲ゴール地点の新潟中郵便局前でフルコース踏破を喜ぶ只見高校生ら

国道289号線の早期全線開通と八十里越周辺の貴重な自然環境の保全などを広くアピールすることを目的に、R289フルコース踏破実行委員会（酒井正吉郎委員長）が主体となり、「R289（いわき市～新潟市）フルコース踏破」が行われました。実行委員会は、選ばれた只見高校1、2年生26名と先生や保護者、一般町民、只見町などで構成されています。

高校生が3名ずつ約10kmを自転車で走りタスキリレーしながら、全長32.5kmを踏破。途中の八十里越は徒歩で踏破するという計画でしたが、見事に7月24、25、31日と8月1日の延べ四日間でフルコースを踏破しました。

実行委員会のメンバーは7月23日、只見地区センター前に集合。出発式が行われ、目黒町長が激励しました。その後、いわき市に出発したメンバーは前泊し、翌朝24日の5時過ぎに勿来の関公園を出発、この日は西郷村の「キヨロロン村」まで、約100kmを走りました。

25日は、「キヨロロン村」を朝7時にスタート。甲子トンネルを通り、下郷町から南会津町の駒止トンネルを通過、午後2時ごろ只見町に入りました。国道沿いでは町民の皆さんが笑顔で手を振ったり、拍手を送ったりして、出迎えていました。さらに、目黒町長と久保副町長も一部区間を高校生と一緒に走り、応援しました。また、ゴール手前約5kmからは只見高校の野球部員と一緒にランニングし、みんなで入叶津の大麻平に午後4時ごろゴールし約100kmを走り切りました。



▲スタート直前の只見高校生(24日・勿来の関公園)

31日は、いよいよ歩きのコース、朝6時に大麻平をスタート。天候は曇り空で歩くには快適なコンディション、この日は実行委員会メンバー以外にも南会津建設事務所職員や一般参加も加わり、約60名が八十里越の道のりを歩きました。

途中、ぬかるみやロープをつかまないと渡れない危険箇所もありましたが、11時間かけ約25kmを歩き切り、新潟県三条市の吉ヶ平に全員がゴールしました。最終日の8月1日は、吉ヶ平を朝8時にスタート。三条市の國定勇人市長ら三条市民の皆さんも拍手で激励してくださいました。新潟市内に近づくにつれ交通量も増す中、順調にタスキをつなぎ、約80kmを走り切り、予定時間より30分早く新潟中郵便局前に到着。国道289号のフルコース踏破を成功させました。

誰一人、体調を崩さず延べ四日間でフルコースを走り、そして歩きとおした只見高校生の皆さん、おめでとうございます。みんなで意志を統一し目標の達成に向け頑張りぬいたこの貴重な経験からつかんだものを、これからの学校生活に活かしてほしいと思います。そして、この事業が安全に行えるようサポートされた実行委員会メンバーの皆さん、ご苦労様でした。この事業実施により国道289号線の早期全線開通が一日も早く実現されることを願いたいと思います。最後に、国道沿線の各地域で心温まる様々な歓迎をいただいた皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

真夏の国道289号線を見事に走り・歩きとおした



地元「只見町」では
皆さんの応援を受け
元気づけられました。
(25日・小林地区)



R289フルコース踏破実行委員長
酒井 正吉郎さん（只見）

この度の事業は、只見高校が趣旨にふたつ返事で賛同され、参加した1～2年生も、自分の意志で積極的に志願し、大人のスタッフはボランティアを快諾され、全員一丸となり実施し、実り多き四日間に渡る踏破行でした。途中、只見町はもとより、いわき市、白河市、西郷村、三条市他、多くの地域住民の方々からも、想定以上のご支援と大歓迎を受け、国道289号線の早期全線開通に対する両県民の関心の高さを肌で感じました。スタートからゴールまで多くのマスコミ各社に取り上げていただき、日一日と成長していく高校生の姿に、只見町の将来を託す我々大人組でした。町内では、初回の八十里越踏破から17年が経過しました。県境トンネルも今年10月には貫通し、只見町も歴史的な転換期に向かいます。先人からの自然遺産、文化遺産を守りながら、ふる里只見の将来像を模索する老若男女の踏破隊でした。みなさん、ありがとうございました。



R289フルコース踏破隊リーダー
橋 翔太さん（只見高校2年1組）

今回、このような大きな事業に町全体で取り組み、誰一人として欠けることなく最後まで踏破することができたことが、一番の喜びでした。

また、仲間と一つのことをやり遂げるといふことの重要性や、自分自身の大きな成長を感じることができました。

長い道のりのなかで、たくさんの人に出会い、人の優しさや温かさをもらい、友達と励まし合い、そして、なにより勇気をもらいました。

また、隊長としてみんなをまとめるのは大変だったけれど、みんなの協力があって、最後までやりぬくことができました。

また、人は決して一人ではないということ、誰かにいつも支えられて生きているということを強く感じました。

最後に、この経験ができたこと、そのすべてのきっかけや、すべての人へ感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいです。



▲大麻平(入叶津)にゴールした只見高校生ら



▲ゴール直後に胴上げをする只見高校生

只見町消防団を代表する 気迫の操法

平成22年度福島県
消防操法南会津地方大会



▲ポンプ車操法

平成22年度福島県消防操法南会津地方大会が、7月4日に南会津町のだいくらスキー場駐車場で行われ、5月17日の結団式から30日間の訓練を重ねてきた町を代表する消防団員、「ポンプ車操法6名」、「小型ポンプ操法5名」の選手が大会に出場しました。

この日は時おり小雨が降る曇り空、選手は緊迫感漂う会場でウォーミングアップし、本番を待ちました。ポンプ車は3チーム中1番目に、小型ポンプは4チーム中2番目に操法を行いました。鈴木好行消防団長から「今日が本番、練習の成果をすべて出し切ってください」と激励を受けた選手は、全員で円陣を組み気合を入れ、競技に臨みました。審査員の開始合図とともに、指揮者の「集まれ！」で選手は横一列に集合、緊張感は一転して集中力へと変化し、各選手が俊敏な動きと絶妙なタイミングでポンプ操作などを行い、最短時間で火点への放水を完了しま



▲ポンプ車操法の部・出場選手

した。完璧な操法をやり遂げたポンプ車と小型ポンプの両出場選手に、鈴木消防団長をはじめとする総勢51名の応援団からは感動の拍手が送られました。選手らは、実力を出し切った満足感に笑みを浮かべていました。

ポンプ車操法、小型ポンプ操法ともに第3位の成績を収めました。出場された選手は次のとおりです。

▼ポンプ車操法の部・第3位

佐藤隆一、堀金瞬、渡部典高、
渡部圭、三瓶宏勝、小沼守(補)

▼小型ポンプ操法の部・第3位

五十嵐一幸、渡部賢史、渡部
隆義、目黒隆、横山慎(補)
(敬称略)

▼小型ポンプ操法



▲入場行進する只見町の選手



▲小型ポンプ操法の部・出場選手

地域リーダー第一期生の講座スタート

ふるさと只見・人材育成講座

教育委員会が行う「地域人材育成ダイヤモンドプラン事業」の「ふるさと只見・人材育成講座」開講式が7月22日に、只見町役場で開かれました。

これからの町をあらゆる分野で支える人材「地域リーダー」を育てるため計画されたこの事業の第一期生は、一般公募から9名、JA会津みなみ推薦1名、只見町商工会推薦1名の計11名に決定。全員が開講式に出席しました。

はじめに、横山太郎教育委員長が「多方面で活躍される町のリーダーとなつていただきたい。皆さまのご協力をお願いします」とあいさつし、続いて目黒町長は「地域の資源を活用し町おこしにつなげる活動を、みんなで考えていく。そのために様々な業種や人の連携をさらに強力なものにしていく講座となることを期待します」とあいさつしました。

最後に、第一期生の決意表明があり開講式は終了。引き続き、第1回講習会

が行われ、講師に福島大学経済経営学類教授の西川和明氏を迎え「地域資源を活かす!」をテーマに講演がありました。講義では、地域ブランドづくりのポイントや成功の秘訣などの説明がされ、只見町の資源を活かす方策は何か、課題は何か、などについて受講生一人ひとりから意見の発言がありました。人材育成講座は今後、23年3月までの間に4回行われます。

人材育成ダイヤモンドプラン 第一期生名簿 (敬称略)	
氏名	住所
1 舟木 晋太郎	小林
2 三瓶 清志	大倉
3 佐藤 弘	叶津
4 目黒 道人	楢戸
5 目黒 広信	塩ノ岐
6 新国 真也	只見
7 山内 翔	二軒在家
8 山内 幸三	布沢
9 星 美弥子	小林
10 吉津 健	黒谷
11 目黒 孝幸	只見



▲講習会の様子

歳時記の郷・奥会津の活性化を目指す

只見川電源流域振興協議会 第1回役員会・要望活動

7月14日に只見川電源流域振興協議会の第1回役員会が只見町役場で行われ、只見町はじめ、柳津、三島、金山、昭和、南会津、檜枝岐の各町村長などが出席しました。

最初に、同協議会長の齋藤茂樹三島町長のあいさつがあり、協議会に入りました。協議会では、4月からの活動経過をはじめ、トータルコーディネーターに清水慎一立教大学観光学部特任教授を置くことや、流域内の担い手の育成、専門コンサルタント

とのワークショップを行い、併せて調査企画活動を推進していくことなど、今後の課題と進め方、スケジュールなどについて意見交換がなされました。

また、この日は国道289号「八十里越」の新潟県側現地視察も行われ、交通不能区間の早期解消に向けた改築事業の促進に関する要望活動として、前川秀和国土交通省北陸地方整備局長、近藤淳同整備局道路部道路調査官、倉重毅同整備局長岡国道事務所長へ、要望書が手渡さ



▲八十里越現地視察

未改良区間の改良と雪対策の早期取り組みを

県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会

7月15日、平成22年度県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会が季の郷湯ら里で開かれました。会長の目黒町長のあいさつに続き、渡部勝博福島県議会議員および青戸良夫南会津建設事務所長代理の星啓介企画管理部長が祝辞を述べました。

今年度事業計画を「未改良区間の改良工事促進・雪崩発生箇所防雪工事早期整備と除雪計画の整備促進」などと定めて活動を展開することとしました。

最後に山口市土木事務所から平成22年度事業概要説明が行われ、荒島・熊倉区間の落石防護柵設置の整備と、それに関連した事業実施の説明がありました。また、除雪要望区間を地元区長や町役場担当者などと現地調査を行い、可能なところから整備をしていきたいとの説明がありました。さらに、冬期間交通不能となる小川・一ノ坪間と荒島・熊倉間の早期除雪についての要望がありました。



▲あいさつをする目黒町長

れました。さらに、国道400号の早期通行止め解除等要望活動も併せて行われています。

虫歯のない子

5月18日
3歳児健診



いづか ひめ
飯塚 妃 さん
(大倉)

株式会社東邦銀行（頭取 北村清士氏）では、森林、湖、公園など自然環境の保全活動に役立てていただきたいとの趣旨で、「東邦エコ定期預金」を創設され、その一定額を「自然首都・只見応援基金」に寄付されました。

贈呈式は、7月20日に福島市の東邦銀行本店において行われ北村頭取から目黒町長に目録が手渡されました。町からも、そのご厚意に敬意と感謝の意を表するため、その席上で町長感謝状を贈呈いたしました。

なお、今回は89万円をご寄付いただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

東邦銀行から「自然首都・只見応援基金」に寄付

6月23日に只見町役場において、原田美千代さん（黒谷）に総務大臣感謝状が贈られました。感謝状は総務省福島行政評価事務所の高野和敏所長から原田さんに手渡されました。



▲感謝状を受ける原田さん

原田美千代さんに総務大臣感謝状

活動にご尽力されたことが認められました。

南会津地方植樹祭緑化功労者

平成22年度の緑化功労者は次の方々です。
6月9日に比良林公園（大倉）で行われた「南会津地方植樹祭」で表彰されました。

氏名	住所	功績
只見の自然に学ぶ会代表 新国 勇さん	只見	奥会津地域の自然環境の調査・研究を行い、本地域の自然環境の貴重性、重要性の啓発に取り組まれた。また、貴重な自然と豊かな生態系が地域の宝となり、地域づくりに役立つことを広め、自然環境の保全と普及・啓発活動に貢献された。
渡部 民夫さん	小川	森林についての豊富な知識や経験を有し、長年にわたり森林保全巡視活動に従事され、入山者に対して火の始末・ごみの持ち帰りの指導、被災した森林の早期発見や森林保全施設の巡視を行い、只見町の森林環境の保全に貢献された。

只見町農業委員会委員

8月11日に任期満了となる農業委員会委員は、無投票で12名が当選しました。
(立候補届出順・敬称略)

1	現職	齋藤 一 (福井・62歳)
2	現職	五十嵐 義博 (只見・62歳)
3	現職	馬場 和正 (蒲生・73歳)
4	現職	佐藤 茂 (叶津・65歳)
5	新人	山内 英明 (梁取・57歳)
6	現職	梁取 祝久 (坂田・62歳)
7	現職	星 耕一 (福井・50歳)
8	新人	赤塚 正明 (長浜・64歳)
9	現職	渡部 旦明 (小川・64歳)
10	新人	菅家 和義 (布沢・59歳)
11	現職	三瓶 清志 (大倉・47歳)
12	新人	角田 睦 (小林・67歳)

さようならヴィッキー先生 只見中学校で離任式

平成20年8月から町の英語指導助手を務めたヴィクトリア・ポッター先生の離任式が、7月20日に只見中学校で行われました。

ヴィッキー先生はあいさつで「生徒の皆さん、目標を高く持って頑張ってください。色々な人と出会い勉強してください。皆さんは、素晴らしい生徒です。お世話になりました。さようなら」と述べました。

ヴィッキー先生には全校生徒が寄せ書きされた3枚の色紙が贈られました。ヴィッキー先生は7月26日に母国の英国に帰りました。



参議院福島県選出議員選挙

只見町開票区：開票結果
(平成22年7月11日執行)

岡部 みつり (民主党)	4 9 1
いわぶち 友 (日本共産党)	3 5 3
菅本 かずまさ (みんなの党)	3 3 0
ましこ 輝彦 (民主党)	1, 4 4 8
いわき 光英 (自由民主党)	9 2 6



栄養士さんからの 健康メモ



栄養士 平野祥子

生活習慣を改善しましょう〜といわれても、「むずかしい」、「できない」とあきらめてしまつ方が多いのではないのでしょうか。あまり高い目標を立てずに「低い目標でも十分効果がある」ものなのです。

おにぎりこそ！

朝食は「これからすることのエネルギー」になります。そのため、よい一日を過ごすために欠かすことはできません。朝食を摂ることはとても重要な生活習慣といえます。おにぎりは日本人が誇るファーストフード。朝、出かける支度をしながらでも頼られる。あるいは職場に着いてからでも、ちよつとした時間があれば手軽に食べられます。朝食はすこやかな生活習慣の第一歩です。

塩分の目標量が変わり、男性9g未満、女性7.5g未満ですので、おにぎりの塩分量にも気をつけましょう。



野菜不足は、あとトマト半分。

日本人はけっこう野菜を食べています。すでに毎日約250gの野菜を食べています。しかし生活習慣病予防の観点からは350gが推奨量。ですからあと100gだけ足りないという訳です。トマトなら半分。野菜炒めなら半皿分。むずかしい量ではありません。野菜メニューも充実している夕食ではなく朝食や昼食でプラスするのがコツです。わずか小皿ひとつ分なのですが、そこでちよつとしたコツとして生野菜ではなく温野菜だと食べやすくなるということ覚えてください。スープでも煮物でも。忙しいときはレンジでチン。野菜そのものの味や食感も変化するので食事自体が豊かになるところがおすすです。



生活習慣を改善しましょう!

毎日10分間のラジオ体操。

今、町内でも朝に流れているラジオ体操。なんとなく準備運動と誤解されていますが、じつはあれくらいの強度の体操でも十分に立派な「運動」になるのです。時間にして約5分間。プラス第2か、みんなの体操を行うと10分間になります。ラジオ体操も毎日続けることで生活習慣病を予防する効果があるものなのです。



あと10分歩きましょう。

歩くことが健康によいと知っていても、いったいどれくらい歩けばいいのでしょうか。生活習慣病の予防には男性9000歩、女性8000歩が目安といわれており、そして平均的な歩数から考えると足りないのは、あと1000歩。時間にして10分程度多く歩くだけで十分に効果があるのです。



もう30分早く寝ると、生活が変わる。

生活習慣改善の一番のポイントは就寝時間。夜ふかしせず、もう30分早く寝るようにするだけで翌朝からの生活リズムは見違えるようによくなります。そして朝食を摂る時間的余裕、精神的余裕が生まれます。朝食習慣のある人は、午前中の仕事や家事、勉強の効率が高められるということが科学的に実証されています。もう30分早く寝る。出発点はここです。

(厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室資料より)



このように、「身近な目標」を設定して前向きに生活習慣が改善できるようにもう一度自分の生活習慣を見直してみましよう。



▼海の生き物を手に取り観察する只見小の児童



学 アクアマリンふくしま移動水族館 校に水族館がやってきた！

7月14日にアクアマリンふくしま（いわき市）の移動水族館が、朝日小学校と只見小学校にやってきました。移動水族館では、ヒトデやウニ、小さなサメなどの海の生き物に直接触れることができ、児童は怖がりながらも水槽に手を伸ばし、いろいろな生き物にタッチして感触を確かめていました。また、貴重な水生昆虫や、アザラシ、サメの剥製などにも触れることができ、海の環境を楽しく学びました。



▲黒谷川での川遊びは最高の思い出

自 川遊び教室 自然とのふれあい・川と親しみ川を楽しむ

朝日小学校では、自然への興味や関心を高め川の大切さを学ぶことを目的に、川遊び教室を7月16日に黒谷川で行いました。この日は前日に降った雨の影響で水量が多かったため、場所を限定し魚つかみを行いました。全校児童が水着に着替えグループで順番に、放された魚を夢中で捕まえていました。大物が捕まった瞬間には拍手が起こっていました。

み 七夕会 みんなの短冊をつけた七夕飾りと一緒に



▲みんなの願いが叶いますように…

明和保育所では、7月7日に七夕会が行われました。39名の保育所児が、七夕飾りが置かれたホールに集まり、「たなばたさま」をみんなで歌い、さくら組の願い事を聞いたり、「おり姫とひこ星」のパネルシアターを鑑賞しました。その後、七夕にちなんだ、おいしそうなお昼ごはんをみんなで頬張り、七夕の一日を楽しく過ごしました。

道 フラワーライン作戦 路沿いをきれいにうつくしく

沿道緑化事業「フラワーライン作戦」が6月28日に只見地区から明和地区までの国道や県道沿いなどで行われました。植えられた花の苗はマリーゴールドやコスモス、サルビアなどで、各地区婦人会、館ノ川集落活性化委員会、唱若衆会の皆さんが道路わきや花壇にきれいに植えられました。今年は肥料にコンポストも使用されました。



▲明和婦人会の方々に作業された梁取バイパス花壇

夏 水の郷まつり にピッタリのイベント盛りだくさん

7月31日と8月1日の二日間、水の郷・只見川公園などで水の郷まつりが行われ、町内外から大勢の方が詰めかけました。特に人気なのがイワナつかみ大会や、カブトムシつかみで、元気なチビッ子が歓声を上げながらチャレンジしていました。ほかにも水鉄砲ゲームやバンドコンサート、出張お笑いショー、花火大会なども行われ夜まで賑わいを見せていました。



▲一番元気なカブトムシはこれかなあ～

郵 ワールドカップ・レプリカボール寄贈 便局から町内の小学校へ



▲ボールを寄贈された湯田秀樹明和郵便局長（右）と馬場永好明和小学校長（左）と明和小児童

只見・朝日・明和の各郵便局ではサッカーのワールドカップ大会が開催された期間中、窓口に展示された公式試合球「ジャブラニ」のレプリカボールを、只見・朝日・明和の3小学校に寄贈されました。南アフリカ大会は閉幕しましたが、小学生にもジャブラニを見ながらワールドカップの熱戦を思い出し、サッカーに親しんでほしいとの願いを込めて贈られたものです。ボールは6月24日～30日に寄贈されました。

安 交通安全テント村作戦 全運転呼びかける交通少年団



▲交通安全キーホルダーを手渡す交通少年団（館ノ川）

7月23日、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環として、町内を走行する自動車などの運転手に交通安全を呼びかけるテント村が今年も行われました。只見地区は館ノ川、朝日地区は長浜、明和地区は小林の国道289号線沿いにテントを設営、各地区の交通安全協会、交通安全母の会、交通少年団が、手づくりのマスコットキーホルダーなどをドライバーに手渡し、安全運転をお願いしました。



▲只見中学校で最後のあいさつをするヴィッキー先生



ヴィッキーの

にっぽん紀行

Vol.20

Victoria · Potter

・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。
・2008年8月から町英語指導助手。



「只見町のみなさんへ」

只見町を去る日が近づいてきて、寂しくなってきました。この2年間で只見は私の第二の家のように感じられるようになりました。今まで住んだどんな場所よりもきれいで、また只見のようなきれいな町に住みたいと思います。

「日本・只見」に着いてから、たくさん新しいことを経験しました。写真を見ると、本当に色々なことを経験していて、驚きました。ALTとして「日本で働く決めてよかったな」と思います。日本に来るまでは只見町のこと何もしりませんでした。福島の只見町に来ることができたことをうれしく思っています。自然の美しさは、日本のどんな場所よりも勝っていると思いますし、只見のみなさんはとても親切で、心温かい人たちばかりです。只見での生活を忘れることなく、これからも続けていたいと思っています。

別れをいうことはとても悲しいです。只見町内の小学校・中学校にも別れを告げました。生徒や先生方、英会話グループの生徒さん、そして、そろそろ、教育委員会にも別れのあいさつ



▲只見中生から色紙を受け取るヴィッキー先生

(訳・只見中・福地)

をしなければいけません。私が見なさんのことを忘れることはないと思います。そして、みなさんが私のことを覚えていてくれることを願っています。

最近ですが、もう1年日本に居ることを決めました。仙台で仕事を探す予定です。仙台はとても大きな都市で、福島に近いので選びました。もう1年日本に居ること、本当にイングリッシュに戻る前に、只見に何度も訪れることができると思います。

「さようなら 只見町！ みなさんの親切に感謝しています」
「またすぐにお会いできることを祈っています」

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 星野 弘尊

「喫煙は病気、喫煙者は患者」

皆さんは、今飲んでいる水に「60種類以上の発癌物質が含まれている」と分かったら、どうするでしょうか。ほとんどの人が飲むのを止めると思います。明らかに有害と分かれば、誰でもそうするでしょう。しかし、タバコはどうでしょう。同じように発癌物質を含むと分かっている、なかなか止められません。なぜなら喫煙は「ニコチン依存症」という病気だからです。ニコチン依存症という精神疾患にかかっている喫煙者(患者)は保険診療を利用して治療できることになりました。

まずは、「タバコを止めたい」と思わなければ、治療は開始できません。そのためには、喫煙者はニコチン依存症であると認め、喫煙の害について、正しく認識しなければなりません。タバコの害は非常に多く、ここで全てを伝えることはできません。その一部を説明します。

能動喫煙の害→タバコはあらゆる病気のリスクを高めます。それにより喫煙者は非喫煙者と比較し、10年早く死ぬことが報告されています。全身の癌のリスクを増加させることはあまりにも有名です。関連が明らかな悪性腫瘍の部位としては、肺、口腔、咽頭、喉頭、食道、膀胱、腎臓、鼻、副鼻腔、胃、肝臓、腎臓、子宮頸部が確認されています。肺癌の90%は、タバコが原因と考えられています。また動脈硬化を促進し、心筋梗塞を約7倍、脳梗塞を約2.2倍

増加させます。タバコ煙は肺を破壊し、将来、呼吸困難により日常生活も困難な状態となるのです。糖尿病のリスクも増加します。若い男性ではインポテンツ、女性では不妊症、子宮頸癌、感染症のリスクが増大、お肌はプラス10歳肌になります。その他もろもろ割愛。

受動喫煙の害→1日20本喫煙すれば、配偶者は1日5〜10本のタバコを吸うのと同等の健康被害を受けます。癌、心臓病、脳卒中は明らかに増加します。家庭の受動喫煙は非喫煙者の全死亡リスクを14〜34%増加させることが分かっています。喫煙者の妻の肺癌のリスクは約2倍です。また子供の受動喫煙問題は重要で、乳幼児と小児で多い中耳炎、気管支喘息、呼吸器感染症は受動喫煙で増加し、約2倍となります。受動喫煙がなくなれば、子供の受診は何割か減るでしょう。妊娠中の喫煙が子供のADHD(注意欠陥・多動性障害)のリスク増加、知能指数低下と関連し、肥満、糖尿病のリスクも増加すると言われています。

タバコはまさに百害あって一利なしの毒物です。リラクゼーション効果、集中力アップもニコチン切れ症状を緩和しているだけの錯覚です。タバコによるニコチン切れストレスのない生活を実現し、充実した生活を送って頂きたいと思っています。診療所では禁煙外来を行っています。タバコをやめたいと感じた方は電話で予約を入れて、受診してください。禁煙は愛です。

町史

つとのおきの話

193

神奈川大学非文字資料研究センター協力研究者

ルシーニュ・フレデリック

▼今月号からは神奈川大学大学院博士後期課程に在籍しているルシーニュ・フレデリックさんが担当します。6回の連載です。

▼とっておきの話始まって以来、初めての外国人執筆者です。1997年から来日されていて、今では日本人以上に話も文章もお上手です。

▼神奈川大学の民俗調査で町民の皆さんにお世話になっており、今回はそのお礼を兼ねて、町のとっておきを連載していただくことになりました。



▲聞き取り調査をする筆者（左から3番目）

道具の記憶



私はフランス北東部のシャンパーニュ地方にあるランス（Reims）という町で生まれ育ったフランス人です。人口25万人程度の都市ですから、町を出ると、広々とした平野を覆う集約農業の畑がすぐ近くにありまます。その向こうの地平線には「ランスの山」という丘の高さほどの山があり、その斜面にはブドウ畑の列が遠くに見えます。けれども、都会で青少年期を過ごした自分には、都会の人間だという自己認識が働いて、田舎の奇麗な景色に引かれても、農業の技術に関していえば興味が皆無に近いのです。このような都会出身のフランス人ですが、何が自分を只見町の民俗文化の価値に目を開かせたのか。簡単にいうと、それは、道具の記憶です。民俗学では、道具という用語よりも、道具使用者＝文化伝承者の存在を強調するために「民具」という学術用語を使うのが常ですが、私は只見町に赴いて初めてなるほどと納得しました。

というのは、只見町には何百年も、物によっては何千年にもわたって代々伝わった道具の使用法やそれに関わる農業知識全般、さらに口承伝承やいろいろな感情が道具の中に潜まれている、だからこそカヤ屋根の農家住宅が建て替えられる際、住民たちが民具を収集し記録する運動を始めた、という話を聞いて実に驚きました。さらに調べてみたら、山間地というきびしい自然環境に対応すべく伝統技術の豊富さと複雑さにも圧倒されました。そもそも、私が只見町を訪れるきっかけは、只見町の民具カードをデータベース化し、インターネット上で只見町のエコミュージアムを開発しようとする神奈川大学21世紀COEプログラムの第4班・地域統合情報発信班に参加したことからでした。この研究に携わるようになった経緯は偶然です。2003年、神奈川大学の博士後期課程に入学して間もなく、指導教授である佐野賢治先生の推薦で当時スタートしたばかりのCOEプログラムにリサーチ・アシスタントとして就きました。

しかし、最初は他の班に振り当てられて、長い間、佐野先生が担当する第4班の目的や内容に関して浅い知識しか持っていませんでした。「只見方式」の名で知られている只見町の民具カードの面白さも想像もつきませんでした。状況が変わったのは、2006年6月21～23日の調査旅行の時だったと思います。その調査には、本当はもう一人の若手研究者が同行するはずでしたが、彼の親戚に不幸があったので、私が代わりに同行したのです。22日、只見町教育委員会の一階で行われた会議で、私が恐る恐る挙手して、システム開発における資料の配置について簡単な提案を述べたのですが、班に若手研究者が不足していたのか、あるいは先生が私にチャンスを与えてくださったつもりだったのか、とにかく、それを契機にチームに加わることになりました。そして徐々に只見町の民具カードのデジタル化作業を始めるようになり、後にはインターネット・エコミュージアムの開発などに向けて責任を与えられ、年に2、3回ぐらい只見

町を訪問するようになりました。まだ只見町の事情をよく知らない者ですが、町の住民たちが歩んで来た歴史や記憶が詰まった民具のデータベース化と、ネット上で世界中に情報を発信できるウェブサイトのシステム開発はまさに興味深いプロジェクトでした。幸いに、いろいろな方々のご協力を得て、ようやく2010年3月「只見町インターネット・エコミュージアム」のウェブサイトを完成することができました。この場を借りて協力していただきました町民の皆さまに深くお礼を申し上げます。只見インターネット・エコミュージアムは、只見町のホームページから見るができます。URL (<http://www.himoi.jp/himoi/tadami-iten/index.html>)



▲只見方式によって記入された民具カード

町民文芸



只見短歌会

六月詠草

大塚栄一 指導

耳遠き母の施設の日々思ひ持ちゆく綜が車内に匂ふ
古川 英子

晴れし日に子らの薯植ゑ手伝へば足のむくみの徐徐にとれゆく
皆川 恒子

喜びも悲しみとても現世では定めと思ふ雨の夕暮れ
吉津 政枝

亡き母に仕種の似ると思ひつつ母の歳をとうに超えたり
馬場 八智

リハビリと言はれ施設に数多きタオルをたたむ気の合ふ友と
五十嵐 英子

夫一人遺し柩の出でゆくにかつてなき如き大雨の降る
五十嵐 夏美

隣家の蜜蜂群れ飛ぶ異状さに主を呼べば分封するとふ
渡部 ゆき子

階上る足音を聞き孫帰ると知れば忽ち眠りにつきぬ
齊藤 ちひろ

遊び疲れ寝入りし孫の握りる指を開けば小さき石出づ
目黒 富子

朝早く畑に出づる夫の背は逝きて年経し舅に似るも
渡部 ヨリ子

すずらんは幸福を呼ぶ花言葉と言ひつつ孫ら仕入れる多し
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

七月例会

目黒十一 指導

康女

四五人の子供の囲む大毛虫
日中の暑さ残して夕日落つ

三日目のマリネの小鱈梅雨きざす
水を売る町に生まれて軒菖蒲

にいにい蟬泣きたきことの二つ三つ
かんざしとして飾りたき山法師

残雪の尾根晴れ渡る夏至の朝
トマト畑にはたと止まれり青田風

梅雨寒や軒にはりつく青蛙
満天星の花の香りや喪の明けて

田水沸く簡易舗装路自転車道
田水沸く山田や軒につづく道

姪っ子のお産祝いや夏座敷
辣菰を漬け終わりたる妻の声

植田なか補植にかがむ越後笠
売られゆく空家にそそぐ西日かな

百万人つなぐキャンドル麦の秋
鬼やんま胸に幾匹の幼き日

子雀を拾いし後の遣り場なし
岩魚棲む淵の暗さや大柱

山蟻の独り歩きの王者ぶり
蛍にも源氏と平家昔から

一灯

植田なか補植にかがむ越後笠
売られゆく空家にそそぐ西日かな

百万人つなぐキャンドル麦の秋
鬼やんま胸に幾匹の幼き日

子雀を拾いし後の遣り場なし
岩魚棲む淵の暗さや大柱

山蟻の独り歩きの王者ぶり
蛍にも源氏と平家昔から

パール島翁が慧眼夏の浜
初夏の日に光彩陸離金の鯨

百年の曲屋たたむ青葡萄
山神の千年松や道をしへ

吉児

恒夫

修一

一

一

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

RECRUITMENT

募集

平成22年度 西部環境衛生組合 職員採用候補者試験

西部環境衛生組合職員採用候補者試験を次により行ないます。
一、職種・採用予定人員

試験職種	行政
採用予定人員	若干名

二、受験資格

- ①日本国籍を有する者。
- ②地方公務員法第16条（欠格事項）に該当しない者。
- ③年齢資格等
昭和50年4月1日から平成4年4月1日までに生まれたもので、普通自動車運転免許証を有し、自宅から通勤可能な者。

三、試験の方法

高校卒業程度で次により行ないます。

- (1)第1次試験
①教養試験（英語出題無）
職員として必要な一般知識及び知能について、択一式による筆記試験を行ないます。
- (2)第2次試験
第1次試験合格者に対して、作文及び個別面接による試験を行ないます。

四、試験の期日・場所及び発表

- (1)第1次試験
①期日 平成22年9月5日（日）
②受付時間 8時30分～9時00分
③教養試験 9時30分～11時00分
④試験場所 西部環境衛生組合
- (2)第2次試験
第1次試験合格者に対して別途通知します。

五、受験手続及び受付期間

申込用紙は西部環境衛生組合

事務局で交付しますので、必要事項を記入のうえ、提出してください。

受付は平成22年8月25日（水）まで。（執務時間中に限ります）
郵便の場合は、8月24日（火）までの消印のあるものに限り受け付けます。

福島県では、車いす利用者用駐車スペース（♿マークのある）対象者に県が利用証を発行し、利用者には駐車する際に利用証の掲示をお願いする「おもいやり駐車場利用制度」を平成21年7月1日から実施しています。

利用証の申請受付を行なっていますので、対象となる方は、ぜひ利用証の交付を受けてください。

この試験に関し不明な点は、本組合事務局にお問い合わせください。

▼問い合わせ

〒967-0611
西部環境衛生組合事務局（南会津郡南会津町山口字下荒町2172-9）
☎ 0241-7212639

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、高齢者、難病患者、妊産婦、けが人で、県が定める交付基準に該当する方

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、高齢者、難病患者、妊産婦、けが人で、県が定める交付基準に該当する方

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、高齢者、難病患者、妊産婦、けが人で、県が定める交付基準に該当する方

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、高齢者、難病患者、妊産婦、けが人で、県が定める交付基準に該当する方

窓口に備え付けの申請書に記入のうえ、確認書類の写しを添付して申請してください。

「おもいやり」によって運用されるものです。ご理解とご協力をお願いします。

生活

LIFE

おもいやり駐車場

利用制度

身体障がい者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、介護保険被保険者証、特定疾患

身体障がい者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、介護保険被保険者証、特定疾患

身体障がい者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、介護保険被保険者証、特定疾患

税 今月の納期

- 8月25日までに納めましょう
- 町民税（2期）
- 国民健康保険税（2期）
- 農集排使用料（8月分）
- 介護保険料（2期）
- 後期高齢者医療保険料（1期）

医療受給者証、母子健康手帳、診断書（けがの場合）

▼窓口連絡先

- 保健福祉課
☎ 0241-8417010
- 町民生活課
☎ 0241-8215100
- 朝日地区センター
☎ 0241-8412111
- 明和地区センター
☎ 0241-8612111
- 南会津保健福祉事務所
☎ 0241-6310305
- 福島県庁高齢福祉課
☎ 0241-52117197

プレミアム商品券

発行
10,000円で
11,000円分の商品券
8月2日（月）
午前9時より販売
【商品券販売所】
（株）川原田商店・
（有）倉田屋・（有）ふじた・
はせべ商店・
只見町商工会

～南会津建設事務所「地域ビジョン」を策定しました～

福島県南会津建設事務所では、地域の皆様の暮らしを支える道路や河川などの社会資本の整備と、それらが十分な機能を発揮できるような日々の維持管理や、様々な地域づくり活動への支援などの業務を行っていますが、南会津の地域特性や近年の社会経済情勢の変化などを踏まえ、これからの地域づくりに向けた事務所の指針として南会津建設事務所「地域ビジョン」を策定しました。

このビジョンに基づき、地域の皆様に愛される社会資本整備を行ってまいります。

【基本目標】 活力と美しさに満ちた持続可能な生活・交流圏

～ 思いやりとおもてなしの心をもって～

ふるさとへの愛着と誇りに満ちた地域の人々とともに、人と人との絆を大切に、多くの来訪者へのおもてなしの心を持ちながら、美しい豊かな地域の価値を高め、快適に暮らせる潤いと活力のある地域の形成を目指します。



1 美しく豊かな地域資源の価値を高める地域づくりへの支援

観光地への安全で円滑なアクセスの確保や、ソフト・ハード両面から地域づくり活動に対する支援を行います。

2 広域的な交流・連携を推進し交流人口の拡大を支援する広域交通ネットワークの強化

地域間交流の支援のため、甲子道路及び八十里越による横軸と、会津縦貫南道路による縦軸や、それらを補完する広域交通基盤の整備を推進します。

3 地域の持続可能な生活を支える生活基盤の強化と、適切な維持管理による安全で安心な暮らしの確保

日常生活に身近な社会基盤の整備や、医療・福祉を支える生活拠点間のアクセス強化を進めます。また、計画的できめ細やかな施設の維持管理に努めます。



▲生活拠点を結ぶ交通を落石から守るロックシールド：国道118号（南会津町）

4 冬期間における道路交通網の確保

豪雪から住民の足を守り雪国の暮らしを支えます。



▲国道352号(楡枝岐村)での除雪作業



▲伊南川沿川での郷土愛を育み河川と親しむ地域づくり活動：富沢川（南会津町）



▲早期の開通が期待される八十里越：国道289号（只見町）

※より詳しくお知りになりたいときは、南会津建設事務所ホームページへアクセスください。

HPアドレス：<http://www.pref.fukushima.jp/minami-aizu/kensetsu/>
福島県南会津建設事務所 TEL0241-62-5322

町長室日誌

〈 7 月 分 〉

- 1日 只見町土地改良区理事会・総代会
- 2日 滝調整池連絡協議会、福島県農林水産部次長来庁、南会津消防研究会会長他来庁
- 4日 福島県消防操法南会津地方大会
- 5日 全国積雪寒冷地帯振興協議会理事会
- 6日 県知事との意見交換会
- 7日 庁議、奥会津元気回復協議会代表来庁
- 8日 第61回南会津地方町村議員大会
- 9日 福島県企業立地セミナー
- 12日 西部環境衛生組合管理者会、西部環境衛生組合議会、南会津地方町村長との懇談会
- 13日 福島県町村長中央研修会
- 14日 只見川電源流域振興協議会要望活動並びに第1回役員会
- 15日 県道小林館ノ川線建設促進期成同盟会総会、あかまつ荘施設長及び理事来庁、南会津広域消防本部来庁、住まいづくり・まちづくり研究会との懇談会
- 16日 町観光まちづくり協会第2回理事会
- 17日 第25回からむし織の里フェア
- 20日 東邦エコ定期貯金による「自然首都・只見」応援基金への寄付金贈呈式
- 22日 山口土木事務所業務課長来庁、福島大学経済経営学類教授西川氏来庁、ふるさと只見・人材育成講座開校式、会津田島祇園祭並びに交流会
- 23日 国道289号フルコース踏破只見高校生激励、老人クラブ連合会定期総会、職員互助会理事会、農家民宿開村式歓迎のあいさつ、「水の郷まつり」第2回実行委員会
- 26日 教育委員との懇談会、政策調整会議
- 27日 個人県民税完納町村に対する知事感謝状伝達式、南会津地方振興局長他来庁
- 28日 交通安全対策協議会、(株)湯ら里役員会
- 29日 国道（289号）八十里越地点開発促進期成同盟会総会並びに事業概要説明会
- 30日 会津総合開発協議会「会津を拓く最重要要望事項」に基づくJR東日本新潟支社要望活動

平成二十二年十月一日 国勢調査を実施します

- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 平成二十二年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となつて実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考へるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。
- 九月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。
- 記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をして調査員に渡していただくか、市区町村に郵送で提出していただきます。



総務省・都道府県・市区町村

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査e-ガイド」をご覧ください。

国勢調査 e-ガイド

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

町民の消息

(7月1日～7月31日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

中山 ^{かじと} 舵人 (男/風人・尚子) 只見
三瓶 ^{たくみ} 巧 (男/大・美幸) 榎戸
渡部 ^{ひさき} 妃咲 (女/正敬・弥) 黒谷

■ご結婚おめでとうございます

小林 山内 幸人 ♥ 南会津町 菅家 美香

■おくやみ申し上げます

本名	アサノ	90才	黒谷
佐藤	昌	88才	大倉
堀金	俊夫	80才	只見
横山	正信	89才	長浜
馬場	ノブ子	93才	塩ノ岐

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年7月1日現在

人口	4, 948	(-16)
男	2, 353	(-9)
女	2, 595	(-7)
世帯数	1, 875	(-6)
高齢化率	41.5%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 16 出生 2 死亡 9

あしがき

▽今年の夏は「暑い！」と感じる日が、ここ数日続いています。国道に設置された温度表示計は、ほぼ毎日30度以上、うだる暑さや猛暑という言葉がびつたりの只見の夏。それでも、夜には涼しくなる只見の夏。これも豊かな自然の恩恵でしょうか。▽暑い夏のスタミナ源として欠かせないのが夏野菜。トマト、キュウリ、ナス、トウモロコシなどなど。野菜ではありません。せんが、マトン焼きも外せません。体調管理を万全に、たくさん食べて今年の夏も元氣一番、乗り切りましょう。飲み過ぎにはご注意ください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
若林 奈津子

朝日地区センター
図書室 ☎ 84-2059

おすすめ新着図書

★体脂肪計タニタの社員食堂



タニタ/著 (大和書房)
今話題の図書! 500kcalのまんぷく定食
体重・体脂肪計など健康測定器を手がける株式会社タニタの社員食堂で実際に提供されているレシピとノウハウが満載の本です。
油分・塩分・カロリーをカットして、満腹!
満足感のある食事をおいしく食べて、健康的なダイエットに挑戦してください。

★ロスト・シンボル



ダン・ブラウン/著 (角川書店)
ダ・ヴィンチ・コードの著者ダン・ブラウンの最新作です。全世界で1800万部を売り上げ、映画化も決定しましたが、スピード感ある文章に引き込まれます。じっくり読んでください。

★わにわにの おおけが



小風さち/著 (福音館書店)
「わにわに」が工作に挑戦! 強烈な絵と、リズム感あるどきどきする文。さて、「わにわに」は何を作ったのかな?
同じシリーズの「わにわにのおふる」も楽しい作品です。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

ブロッケン現象

気象／大気光学現象

太陽を背にして立ったときに、霧に映る自分の影に虹のような輪ができること。昔は阿弥陀如来が現れたと考えられ、ご来迎などと呼ばれました。

高い山の上で見られる現象ですが、只見町では夏に川霧が発生する只見川で見ることができます。午前6時半から8時ごろに、只見川に架かる常盤橋から万歳橋までのあいだで見ることができます。ブロッケン現象は、霧と太陽光線の微妙なタイミングで現れるので、すぐに見れなくてもしばらく待ってみましょう。



ブナセンター講座

※詳しくは、「只見町ブナセンターだより」に紹介しています。

第9回 9月25日(土) 「田子倉湖ブナ探検隊」

【特別企画展】

只見と世界の昆虫展 7月21日(水)～9月26日(日)

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

8月

● 7・8日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

会津若松―只見(二日一往復)」

● 14・15日(土・日)

「成法寺観音堂御開帳(梁取・成法寺)」

● 15日(日)

「黒谷川魚つかみ大会」

● 16日(月)

「河井継之助墓前祭」

(河井継之助記念館)

9月

● 5日(日)

「只見町祭礼行事」

「只見駅前通り」

ウキウキわいわいフェスタ」

▼夏野菜が豊富に収穫できる季節になりました。お家では食べきれない野菜を只見駅で販売してみませんか。

▼観光のお客様からも新鮮な野菜が手に入るとご好評をいただいております。お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎ 0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時